

事務事業評価表 平成22年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 交通環境の充実
 基本事業 安全で快適な道路づくり

事業名 **道路橋梁管理経費 (臨時)**

[3024]

部名	建設部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	土木事務所	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 市道
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 老朽化による施設の更新等の修繕工事
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市道総延長	km	824	827	827	827
対象指標2						
活動指標1	実施延長	km	4	3.7	4.8	3.5
活動指標2						
成果指標1	道路維持管理上の不具合件数	件	513	512	585	500
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	449,428	428,384	535,608	448,282
正職員人件費 (B)		千円	14,236	14,209	13,692	14,158
総事業費 (A) + (B)		千円	463,664	442,593	549,300	462,440

費用内訳	
21年度	委託料 1,529千円、工事請負費 531,815千円、負担金 補助及び交付金 2,264千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	近年、車社会の発展により、道路の安全に対する市民の関心が高まっている。また、老朽化した道路施設の更新も強くなっている。
--------	--	-------------	---

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由
 ・
 根拠は？

道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。（道路法42条）

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由
 ・
 根拠は？

安全な交通確保に大きく貢献する。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由
 ・
 根拠は？

平成21年度の実施予定路線は完了している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由
 ・
 根拠は？

計画的に実施することで成果は向上する。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由
 ・
 根拠は？

これまでも経費削減の工夫を積み重ねてきており、これ以上の縮減は難しい。